

## 名誉教授馬場啓之助年譜

明治四十一年（一九〇八年）

十一月二十三日 福井市足羽下町に生まる。

大正四年（一九一五年）

四月 福井市足羽小学校に入学、翌年四月横浜小学校へ転ず。

大正十年（一九二一年）

三月 横浜小学校卒業、同年四月横浜第二中学へ入学。

大正十四年（一九二五年）

三月 横浜第二中学第四学年修了、同年四月東京商科大学予科入学。

昭和六年（一九三一年）

三月 東京商科大学本科卒業。

八月 東京社会科学研究所所員（同所解散により翌年三月退所）。

昭和十三年（一九三八年）

十月 県立横浜第一中学校講師（翌年八月まで）。

昭和十四年（一九三九年）

八月 東亜研究所事務嘱託。

十二月 外務省事務嘱託、経済事情調査のため香港出張（翌年三月まで）。

昭和十五年（一九四〇年）

四月 東亜研究所副調査委員（十七年十二月まで）。

昭和十七年（一九四二年）

十二月 陸軍事務嘱託、経済事情調査のため比島軍政監部附を命ぜられる（翌年十二月まで）。

昭和十九年（一九四四年）

一月 交易営団主事。

五月 同営団調査部第三課長代理。

昭和二十年(一九四五年)

五月 交易営団企画部管理計画課長代理。

十月 同営団総務部総務課長代理(翌年六月まで)。

昭和二十一年(一九四六年)

七月 財団法人交易研究会交易史編算事務囑託。

九月 私立横浜専門学校講師。

昭和二十二年(一九四七年)

六月 農林事務官に命ぜられる。

農林総合研究所研究員。

昭和二十五年(一九五〇年)

五月 農業総合研究所計画部長。アメリカ合衆国へ出張

(翌年二月まで)。

昭和二十八年(一九五三年)

四月 一橋大学(経済学部)講師に併任。

昭和三十年(一九五五年)

四月 文部教官(一橋大学教授経済学部)に併任。

昭和三十一年(一九五六年)

四月 農林事務官(農業総合研究所計画部長)に併任。

九月 一橋大学東京商科大学教授に併任。

昭和三十三年(一九五七年)

六月 蚕糸業振興審議会委員。

昭和三十三年(一九五八年)

四月 繭糸価格安定審議会委員。

昭和三十四年(一九五九年)

三月 農業観測審議会委員。

四月 一橋大学評議員。

六月 米価審議会委員。

十月 農林漁業基本問題調査会臨時委員。

十一月 日本生産性本部経済分析専門視察団参加並びに経済

学研究のためアメリカ合衆国へ出張(同年十二月二

十三日帰国)。

昭和三十六年(一九六一年)

四月 一橋大学評議員。

七月 学校給食制度調査会委員。

八月 一橋大学経済学部長、一橋大学評議員を兼任。

九月 経済学博士の学位をうける。

昭和三十七年(一九六二年)

十月 中央労働委員会委員。

昭和三十八年(一九六三年)

四月 経済審議会臨時委員。

八月 一橋大学評議員。

昭和三十九年(一九六四年)

三月 畜産物価格審議会委員。

十一月 国民生活上対策審議会委員。

十二月 中央社会保険医療協議会委員。

昭和四十年(一九六五年)

四月 一橋大学附風図書館長。一橋大学評議員を兼任。

十月 中央環境衛生適正化審議会委員。

昭和四十一年(一九六六年)

十一月 国民生活審議会委員。

昭和四十二年(一九六七年)

一月 農業総合研究所参与。

三月 畜産振興審議会委員。

昭和四十四年(一九六九年)

一月 社会保障研究所参与。

七月 一橋大学評議員。

十月 一橋大学経済学部長、評議員兼任。

十一月 一橋大学長事務取扱。

昭和四十五年(一九七〇年)

十一月 第八十二回国有財産関東地方審議会臨時委員。

昭和四十六年(一九七一年)

三月 国民生活センター運営協議会委員。

昭和四十七年(一九七二年)

三月 一橋大学教授を辞任。

四月 一橋大学名誉教授の称号をうける。

六月 社会保障研究所理事。

昭和四十八年(一九七三年)

一月 社会保障研究所長。